

平成27年度行政事業レビューシート

(内閣府)

事業名		国際平和協力のための人材育成経費		担当部局庁	国際平和協力本部事務局			作成責任者	
事業開始年度	平成17年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	-			参事官 小林 真一郎	
会計区分	一般会計			政策・施策名	86 国際平和協力業務等の推進 (政策2-2-施策①)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法第4条第3項第52号			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際平和協力研究員(以下「研究員」という。)を能動的・主体的な調査・研究活動や国際平和協力本部事務局(以下「事務局」という。)の業務に従事させることにより、国際平和協力の分野で活躍する文民を育成するとともに、研究員の知見等を最大限活用して事務局の機能強化を図ることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	既に国際平和協力の現場で活動し、同分野における知見を有する者を対象として、公募を実施し、書類審査や外部有識者による面接審査により選考を行った上で、最長2年間の任期の国際平和協力研究員(非常勤国家公務員)として採用。国際平和協力の分野に関する能動的・主体的な研究活動のほか、国際平和協力隊員の派遣前研修の講師、広報活動等の事務局業務に従事させることにより、総合的な能力向上・人材育成を推進すると同時に、事務局機能の強化を図っている。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		補正予算	▲3	▲4	▲9	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	41	39	37	47	46		
	執行額	34	37	30	-	-			
	執行率(%)	83%	95%	81%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック	
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績					
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標			調査・研究の成果を、シンポジウム、政府機関、大学院等における講演、論文発表を通じて発信する。それを実績とし、国際連合等の国際機関への就職及び、世界への貢献とする。 活動実績としては、講演やシンポジウムでの研究発表を中心とした研究員の能力向上に加え、事務局機能強化の観点から、我が国の国際平和協力隊員の派遣前研修や海外PKO訓練センターでの講師としての指導、さらには、専門分野での情報発信を通じた広報活動など、高度な専門的知見を活用して業務を実施した。 また、国連等国際機関への就職状況は、平成24年度 国際移住機関(IOM)1名、赤十字国際委員会(ICRC)1名、平成25年度 赤十字国際委員会(ICRC)1名、平成26年度 赤十字国際委員会(ICRC)1名、国連児童基金(UNICEF)1名、国連開発計画(UNDP)1名となっている。					
	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	外交に関する世論調査における、「日本の果たすべき役割」で前年度設問平均以上の回答を得る。			日本の果たすべき役割で「人的支援を含んだ、地域情勢の安定や紛争の平和的解決に向けた取組を通じた国際平和への貢献」と回答した割合。					
			実績	%	60.7	59.5	57	-	
			目標値	%	40.9%	40.2%	40.5%	-	
		達成度	%	100%	100%	100%	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	研究員8人による調査・研究活動及び事務局業務従事			活動実績	人	8	8	8	
				当初見込み	人	8	8	8	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	X(執行額)÷Y(人数) 月別最大で計8人が事務局で業務に従事した。			単位当たりコスト	円	4,210,000	4,664,714	3,690,717	
				計算式	/	執行額/人数	37,317,718/8	29,525,743/8	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	人件費	38	38						
	諸謝金	0.3	0.3						
	旅費	5	5						
	庁費	3	3						
	計	46.3	46.3						

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	有識者からなる国際平和協力懇談会の提言を踏まえ実施している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国際平和協力分野における文民育成として、当事務局は最前線の活動場所である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	研究員の知見等により、事務局の機能強化を図っている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	研究員は公募しているが、選考に当たっては、国際平和協力で深い知見を持つ外部有識者にも審査に参加してもらい多角的な視点から適切な人材を採用している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	妥当性を欠いた執行は認められない。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	目的外となる執行は認められない。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	会計法等に基づき、競争による調達を原則としている。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果目標に見合った成果実績を達成した。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	必要となる人材を確保し、各種活動に従事した。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	将来的に国際平和協力分野で活躍できる中堅キャリアレベルの人材の育成を目的としており、研究員は退職後約半数が国際連合や国際機関に就職し、それ以外の者も国際平和協力分野のさまざまな組織で国内外を問わず幅広く活躍している。研究員は研究成果を国際平和協力シンポジウムで発表するとともに、事務局ホームページに各自の専門分野に関する記事を掲載するなど、積極的に情報発信を行っている。	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-			
	-	-			
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業については、契約及び請求書等関係書類を精査のうえ支出しており、支出状況及び使途のいずれも適正である。 ・我が国が、国際平和協力分野での人材育成を通じて国際平和に寄与するため、引き続き適切に実施していく必要がある。 ・43名の修了者のうち、国連等国際機関に19名、国際NGOに4名、外務省・防衛省等政府機関に6名など、国際平和協力分野で幅広く活躍する人材を着実に輩出している。 			
	改善の方向性	本事業については、引き続き適切に実施していく必要がある。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き効率的な執行に努めるとともに、執行実績を踏まえ、概算要求を行った。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	0156	平成23年度	0163	平成24年度	0157
平成25年度	0111	平成26年度	0108		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

内閣府国際平和協力本部
30百万円

国際平和協力分野の調査・研究
活動及び事務局業務支援

【個人】

A. 個人 11名
25百万円

研究員に係る非常勤職員手当

【個人】

B. 個人 16名
1百万円

研究員の国内外研修等への参加に係る旅費、
有識者に対する諸謝金等

【個人】

C. 個人 2名
0.005百万円

研究員の研修受講費用

【随意契約】

D. (株)国際開発ジャーナル
1百万円

研究員の募集に関する情報の掲載に係る費用

【個人・随意契約】

E. 個人 2名+国際連合大学他8社
3百万円

国際平和協力シンポジウム開催に係る費用

【随意契約】

F. (株)国際開発ジャーナル
0.1百万円

国際協カキャリアフェア2014への出展

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.個人			E.個人		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	研究員	4	旅費	外国人招へい旅費	1
計		4	計		1
B.個人(F.(株)国際開発ジャーナル		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
旅費	研究員等の旅費	0.5	出展料	国際協力キャリアフェア2014出展料	0.1
計		0.5	計		0.1
C.個人			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
受講費用	「日本国際政治学会2014年度研究大会」参加	0			
計		0	計		0
D.(株)国際開発ジャーナル			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
掲載料	「国際開発ジャーナル」掲載料	0.4			
掲載料	「国際開発ガイド」掲載料	0.3			
計		0.7	計		0

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	4	-	-
2	個人B	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	4	-	-
3	個人C	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	4	-	-
4	個人D	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	3	-	-
5	個人E	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	3	-	-
6	個人F	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	2	-	-
7	個人G	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	2	-	-
8	個人H	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	0.9	-	-
9	個人I	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	0.8	-	-
10	個人J	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	0.8	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人K	国際平和協力業務旅費	0.5	-	-
2	個人L	国際平和協力業務旅費	0.3	-	-
3	個人A	国際平和協力業務旅費	0.1	-	-
4	個人M	諸謝金及び旅費	0.1	-	-
5	個人N	諸謝金	0	-	-
6	個人O	諸謝金	0	-	-
7	個人D	国際平和協力業務旅費	0	-	-
8	個人C	国際平和協力業務旅費	0	-	-
9	個人E	国際平和協力業務旅費	0	-	-
10	個人P	国際平和協力業務旅費	0	-	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	「日本国際政治学会2014年度研究大会」参加	0	-	-
2	個人C	「JICA能力強化」参加	0	-	-

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)国際開発ジャーナル	国際平和協力研究員募集広告掲載	0.4	-	-
2	(株)国際開発ジャーナル	国際平和協力研究員募集広告掲載	0.3	-	-

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人Q	外国人招へい旅費	1	-	-
2	国際連合大学本部	会場借料	0.4	-	-
3	(株)キタジマ	報告書の印刷	0.4	-	-
4	個人R	外国人招へい旅費	0.3	-	-
5	(株)NHKグローバルメディアサービス	同時通訳	0.3	-	-
6	(株)サンケイ会館	飲食	0.3	-	-
7	扶桑速記印刷(株)	テープ起こし	0.1	-	-
8	国際連合大学本部	会場音響システム運用	0.1	-	-
9	(株)ニューオータニ	飲食	0.1	-	-
10	(株)サンケイ会館	ケータリングサービス	0.1	-	-

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)国際開発ジャーナル	国際協力キャリアフェア2014出展	0.1	-	-

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック